



# 学校通信 赤坂小だより

令和7年度 第6号 R7.6.11

北九州市立赤坂小学校

校長 大成 清徳

## 梅雨入りとともに 水泳学習に向けて

◎九州北部地方も、梅雨入りを迎え、今週は雨の日が続いています。今のところ、気温が高くないため、不快な蒸し暑さを感じることなく、子どもたちは元気に学校生活を過ごすことができています。

とはいえ、気温の変化や食中毒などにより、体調管理が難しい時期です。ご家庭でも、生活リズムを整えて、健康管理に十分お気を付けください。

さて、本校では、6月6日（金）に、全校児童が安心して水泳学習に臨めるよう、6年生全員で、プール掃除をしました。デッキブラシやたわしを手に、プールの底や壁、プールサイドなどをカいっぱいこすって熱心に汚れを落としていました。全校児童のため、汗を流す姿は、大変立派でした。ありがとうございました。

### プール清掃



カいっぱいゴシゴシ磨き上げるぞ!!

### プール開き



6月10日（火）のプール開きでは、代表児童4名が水泳学習に臨むにあたって『誓いの言葉』を述べました。校長からは、全校児童の代表として安全を第一に、各自の目標をもち挑戦するよう話をしました。教務主任の中川先生からは水泳学習の約束を改めて確認して注意を促しました。

水泳学習の始まりに当たって、保護者の皆様をお願いのお手紙を配布しています。子どもたちにとっては、楽しい学習ですが、同時に危険を伴うものでもあります。学校では、万が一の事態に備えて、事前に教職員全員で救命救急講習を行っています。ご家庭におかれましても、以下の点についてお気を付けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 【水泳健康カードの記入について】

・水泳学習のある日は、泳ぐ、泳がないにかかわらず、以下の事項を記入し、押印をお願いします。

<記入事項>

日付、当日朝の体温、朝ご飯、本日の水泳学習参加の可否：○又は×、見学の理由

押印：必ず保護者の方が押印をしてください。記入・押印もれがある場合は、プールに入ることができません。

### 【お子様の健康管理について】

#### ○登校前の健康観察

- ・食欲がない、元気がない、目がかゆい 等
- ・手足の爪は切っておく。

#### ○プールに入れない場合⇒カードに×の記入を

- ・発熱、下痢など体調が悪いとき
  - ・ケガが化膿しているとき（カットバン等を貼ったままでは入れません）
  - ・内科・耳鼻科等、医師から止められているとき。
- ※ 水に対して抵抗感や恐怖心がある場合は、担任にご相談ください。

○安全面から、指導する教員が水泳学習中の児童の名前を把握する必要があります。プールサイドから見て、水泳中の児童の名前がはっきりと見取れるように、水泳帽子の正面に、マジック等で大きく記名するようにお願いします。

## ☆心が温まる“ほっとニュース” 思いやりの心・命を守る行動

6月4日(水)の午後3時30分頃、本城3号公園近くの側溝に、高齢の女性が落ち込んでいるところを、公園で遊んでいた本校5年生の児童が発見しました。見ると、女性は上半身の片側と片腕が側溝にはまり込み、動けない状態でした。一緒に遊んでいた5年生数名が駆け寄り、女性に声をかけ、意識があることを確認しました。児童らは、引き続き女性に「大丈夫ですか。」と声かけをするグループと、近所の大人に助けを求めるグループに分かれて、女性を救助するために自分たちでできることは何かを考え、行動しました。公園の近くに住む児童は、自宅にいたお母さんに119番通報を依頼し、数分後に救急車と消防隊が到着し、無事に女性を救出することができたということです。

翌日、地域の方からこのことを伺い、早速5年生の教室で尋ねたところ、数名の児童が手を挙げてくれました。勇気ある行動を褒めるとともに、昼休みの放送で全校児童にこのことをお知らせしました。

この日の放課後に、女性の息子さんより学校にお礼の電話をいただきました。息子さんによると、子どもたちが素早く対応してくれたおかげで、膝の擦過傷と肩の痛みのみで、精密検査を受けたが骨折などの重い怪我はなかったということでした。救助に当たった子どもたちに感謝の気持ちを伝えてほしいと言われ、翌日、学級担任より子どもたちに伝えたところです。

本校では、日頃から、朝の安全指導に立っていただいたり、スクールヘルパーとして見守っていただいたり、地域の方にお世話になることがたくさんあります。そのため、自然と交流が深まり、子どもたちも進んで挨拶をするような関係が築けています。今回の5年生の行動は、このような日頃の交流が土台となってできたことと思います。これからも、地域の方や高齢の方、体の不自由な方に思いやりの気持ちで接することができるように、今回5年生がとった行動のよさを全校児童で共有し、広めていきたいと考えます。

## ☆小中一貫連携事業 6年生：折尾中 Big Match に参加

○6月6日(金)、6年生は、折尾中学校で開催された体育大会(折尾ビッグマッチ)にご招待いただき、観覧をしに行ってきました。グラウンドに、テントと児童席まで用意していただき、まずは、部活動紹介を楽しみました。ユニフォームを着用した各部の部員が、胸を張って堂々と行進する姿に、拍手を送りました。赤坂小の先輩の姿が見えると、声援を送っていました。続く部活動対抗リレーは、陸上部と女子バスケットボール部の圧倒的なスピードに目を見張りました。太鼓部の息の合った演武の後には、いよいよ6年生の出番です。1年生の競争競技「玉入れ」に参加しました。赤・黄・青3色のチームに分かれて、3人の先生方が背負った籠に玉を投げ入れる競技です。逃げ回る先生方を、中学1年の生徒と一緒に夢中で追いかけて、籠をめがけて玉を投げこんでいました。競技の後には、中学校の先生方や先輩方、保護者の方に大きな声でお礼を言って、帰路につきました。中学校の体育大会の雰囲気味わうとともに、自分たちも迫力ある競技ができるようになりたい、と希望をもつことができる貴重な機会を設けていただいた折尾中学校の先生方に、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。今後も中学校と連携して、進学に当たり期待がふくらむ取組を企画していきたいと考えています。



玉入れで籠を背負って逃げ回る中学校の先生たち

自分のピブスと同じ色の玉を籠に投げ込み、数を競います。



### 『ひまわり教室』始まる



・6月3日(火)、基礎的・基本的な学力や学習習慣の定着を図ることを目的に、放課後の時間に「学習指導員」が子どもたちの学習支援を行う『ひまわり教室』の開級式が行われました。今年度は、3年生の希望者16名を対象に実施します。

まずは、その日に出された宿題を仕上げ、算数の基礎的な問題に取り組みます。参加した児童は、指導員さんに質問するなど、積極的に学習していました。

